

菊陽人 りさーち



いむら しゅうた
井村 崇太くん
(7歳・八久保)

- 趣味 キックベース
- 将来の夢
口ポット作り
- 自慢できること
足が速い
- 家族に伝えたいこと
いつも戦いごっこをしてくれてありがとう

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



きた せむ
北 聖夢くん
(7歳・花立)

- 趣味 陣取り
- 将来の夢
ラグビー選手
- 自慢できること
ラグビーがうまいこと
- 家族に伝えたいこと
いつも迎えに来てくれてありがとう

心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.51】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

※作者の学年は前年度の在籍学年となります。
◇印からの文章は先生のコメントです。

「二期人権学習のまとめ」 武蔵ヶ丘中学校2年 守田真由奈

私は、人権学習をしてきて思ったことが変わらなう一つあります。それは「一人一人が内側から自分を見つめなおす。」ことです。

まず、沾染一揆についての学習で思ったことは、身分制度ができたことがおかしいということ。部落差別のことは、小学校の時から学習してきて、昔の人の考えはわからないなど毎回思います。でもそれは、今でこそそう思えることであって、昔は身分制度が当たり前と想っていた人達がいっぱいいたと思うと、とてもこわいです。それは、どの国、世界でも同じだったと思います。

そして次に「三月三日の風」のビデオを見て、水平社創立と西光万吉についての学習をしました。私は、この学習で「水平社」という言葉と意味を初めて知りました。一八七二(明治四)年の解放令によって、法律・制度上は解放され、差別が終ると喜んで人々でしたが、実際には差別は終わらないのではないかと心配した人もいたのではないかと思います。一度考えを持った人間が、そう簡単には考えを変えられないと思います。それが間違っていることにも気づけず。

西光万吉は、続いてきた差別のせいで、人生で通るはずの道も、夢までも奪われました。その中で差別をなくそうと決意したことがすごいと思いました。万吉が仲間達と共に全国水平社を創り上げ、人権というものを認識させ、全国に広めるきっかけをつくったので、今があると

います。三月三日の風」を観た際には、もつとリアルに、こんな差別があつて、それで悔しい思いをしながらも、差別と向き合い闘っていく姿に、この人達がいたからこそ今があるんだなと思いました。もちろん今でも差別がなくならなかったわけではなく、部落差別とは違い個人としての差別が多い様な気がします。具体的にいうと外見などの差別です。でも、部落差別も個人の差別も変わりません。差別は差別です。ならば私達も、水平社の人達のように差別と向き合っていくかなければならないと思います。

私も差別で悔しい思いをしたことがあり、とても傷つきました。体のことや見た目のことを言われてきました。そしてそのうちに私は、自分が大嫌いなになりました。自分に自信をなくし、どんどん内気な性格になり、学校にさえ楽しく来られなくなりました。相手には自分がどんな思いで過ごしているのかわからない。それがとても悔しいです。西光万吉達のように自分の気持ちを訴えるのが一番いいのですが、自分には難しくまだ内に閉じ込めたままです。だから、今日(の)人権集会で(発表しよう)と決めました。



▲熊本県人権子ども集会

日頃の自分の言動については、気を付けているつもりです。「死ね」は絶対に使わない、人が傷つくようなことは言わない。もしかしら知らず

に、言っているかも知れませんが気がつけています。しかし、周りの人達の話などを聞いてみると、ふざけている中で「死ね」と言ったり、相手の体のことを言ったりと、言っているだけではないはずの言葉を使っています。それを笑って受け取る相手もおかしいと思います。以前に、幼なじみからふざけて「死ね」と言われた時は本気で怒りました。それほど「死ね」という言葉は私の中で嫌な言葉です。友達から人の悪口を持ちかけられた時、私はいつも曖昧に返事をしてしまいます。それではだめだと思っているものの勇気がありません。親に相談したら「思っているだけで、言葉にしないなら何にも伝わらんよ。」と言われました。その通りです。自分で少しづつ、直接思いを伝えられるようになればいいなと思います。

人間として差別を完璧になくすことは無理だと思えます。それを堂々と表に出す人がいるので、傷つく人がいるんだと思います。表に出さなければ良いということでもないと思うのですが、傷つく人が減るのも事実です。それでも内側から自分を見つめ直し、人間としての常識を考え、色々な人と関わりを持つことで、考え方を直せると思えます。水平社の人達と同じように差別と向き合っていくことが大切だと思います。

◇親に相談して、「思ってるだけで言葉にしないなら、何にも伝わらんよ。」と言われています。この作文を書いたことをきっかけに学年人権集会で発表することを薦めました。発表後、たくさんさんの返し(共感の言葉)をもらってスッキリした表情で過ごしています。

きくよう文芸

菊陽句会報

母の日や形見の指輪飢えに消え	坂本百合子	我が庭を巣立ちし鳥の行方かな	吉野 早苗
咲くも良し散るも又良し山桜	田中 郁子	鞍岳の武者ぶり八十八夜かな	井上久美子
リボン解き菓子折披露夏座敷	井 子文	久の雨芍薬の八重珠を解く	宮川ユキエ
春の服探し倦ねし同級会	財津 早雪	音秘めて阿蘇の岩水喜浦池	日高 妙子
うす緑育む雨の並木道	原野レイ子	写メールは大漁自慢ごもの日	曾我 育代
散ればこそ薔薇一輪の重みかな	カ 幸子	昨夜の雨朝の若松銀の露	曾我トモ子
俯きてはにかむ夕べすみれ草	寺尾千代子	今年竹鐘ひしままに天を突く	紫藤 祥子
芭蕉らの歩きし道や遅き春	高橋 孝子	日陰りの純白牡丹身を浮かせ	村上 朋子
五月来る柱の傷のなつかしく	堀川 妙子	ゲンゲ野に炎の文字や阿蘇燃ゆる	野口 令史
母の日に母の絶品料理かな	福田 貴子	なにごともしなかつたやうに桜咲き	松橋 強
大樹の枝借りて匂ふや藤の花	佐藤 健	やんちゃ子や紙の宛に夢馳せて	藤本 純子
	佐藤 節	草払今日の日たえ揚雲雀	佐藤 澄世

短歌会

健康に良しと聞きたる野の草は祖母と野に行き摘みし草花
雲ひとつなき空見上げ今日もまた真夏日なるか水を飲みたり
われに残る命かぎり旅をゆく今ぞ相見ると三春の桜
高々に泰山木の花咲けり思い出遠く消えゆくなり
鈴蘭の咲く北国に憧れき遠きその日は輝きのまま
紅に萌ゆる今年の山桜遠き日のこと蘇り来る
天草の赤き海面に沈みゆく何と美しこの落日は
燕低く忙しく飛び交ふ無人駅一人待つ間を本を読みつつ
硬筆のけいこに來たる子どもらの元気な声に喜びの湧く

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
菊川あさみ
佐藤せい子
中村トシエ
松岡富紀子
山川 カヅ
松本 東亜